

市長コラム 創造を想像する

県内のトップスポーツチームが頑張っています。

にかほ市をマザータウンの一つとするブラウブリッツ秋田。開幕から破竹の勢いです。3年ぶりのJ3優勝と、念願のJ2昇格に向けまっしぐらです。

TDK硬式野球部。都市対抗野球、東京ドーム出場です。東北大会を制しての東北ブロック第1代表です。市民の多くが待ち焦がれていました。7年ぶりの出場です。おめでとうございます。

このコラムの執筆時には両者のその後はわかりませんが、彼らの頑張りやコロナ禍の今年だからこそ大きな意味があると私は思っています。

■**スポーツの力**

高校野球。春夏の甲子園。もちろん私たちは秋田のチームをいの一に応援します。これは当然です。面白いのは地元チームが負けた後です。次にどこを応援するのか。たいがいの人々が東北地方のチームを応援し始めます。それはなぜでしょうか。

一般的に私たちはより身近なチームやプレーヤーを応援します。ときにその競技を全く知らなくてもです。たとえば、昨年のラグビーワールドカップ日本大会がまさにその典型です。思い返してみてください。ラグビーの試合を一度も見たことなかった人たちがまでもが熱狂的フ

アンになり、急にラグビーの専門家になったりしていませんか。

なぜ人々はスポーツを通じて、そのプレーヤーにシンパシーを感じたり、時にはエンパシーを抱いたりするのでしょうか。それは、そこに自らの存在を感じ、ときに自らを投影することができるからであり、無意識の中に自らのアイデンティティを確認することができるからです。

つまり、勝てば歓喜し、負けると悔しがり、涙もなく号泣したりするのは、そのチームやプレーヤーと自分が一体となっているからなのです。

コロナ禍で、真っ先にその存在意義が問われたのはエンターテインメント業界でした。文化・芸能、そしてスポーツです。私は逆だと思っています。むしろこういう危機のときだからこそ、文化・芸能・スポーツの存在意義と必要性が再認識されるべきだと思います。スポーツが人々に与える力、特に子どもたちに与える感動や勇気は、目には見えませんが限りなく大きいはずですよ。

■**コロナ禍だからこそ**

少し別の話をします。

若い頃、「チップス先生さようなら」という映画を見ました。名画です。学校の授業中、ドイツ軍の空爆を受けま

こんなときだからこそ



にかほ
biz
まるっと!
vol.21



有限会社長沼製作所

「キラリと光る航空宇宙技能集団」
を目標して

■技術を武器に未来に挑戦する職場です

私たちの会社は、金属加工業として「溶接」・「機械加工」・「アルミフレーム」と職種分類別に3拠点で事業を展開し、材料の手配から製造・加工までワンストップで対応しています。2019年には航空宇宙・品質マネジメントシステムである「JISQ9100」を認証取得するなど、日々、更なる高い品質を求めて挑戦を続けています。

加工する製品は日替わり弁当のように一品一様で材質によっては手順や工程を自分で考える必要があるのが悩むこともありですが、考えたやり方がうまくいき、寸法もぴったりといった時はものづくりのおもしろさを感じます。金属素材がさまざまな工程を経て完成品として仕上がった時は喜びも大きいです。

職場環境は、責任感が強く優しい人が多いです。業務等に関する悩みごとに関しても要望しやすくとっても風通しが良い職場です。休暇に関しても会社、社員の理解があり子育て中の社員も安心して働くことができます。また仕事以外でも、観桜会やビアガーデン、社員旅行、ボーリング大会といったイベントが多く、コミュニケーションを大事にしているのも特徴のひとつです。

高成長産業として期待される航空宇宙分野などにも携われる私たちの会社で技術力を磨き、新しい歴史を創りませんか。

企業情報

弊社の強みは熟練工のスキルと信頼の品質（航空宇宙・品質マネジメントシステムJISQ9100認証取得）にあります。材料調達、レーザー、板金、曲げ、溶接、焼鈍、ショットブラスト、機械加工を自社内で完結するワンストップ生産体制が確立されており、圧倒的なレスポンスの良さが弊社の特徴です。また、高熟練度を要する溶接技術と複雑形状な溶接構造物への機械加工対応が評価され、さまざまな業界のお客様より評価を頂いています。

- ▶ 所在地 にかほ市院内字下横根 2-1
- ▶ 事業内容 生産設備用溶接、板金加工部品および機械加工部品の製造
- ▶ 従業員数 35人
- ▶ 電話 0184-36-3575
- ▶ メール naganumaseisakusho@cup.ocn.ne.jp
- ▶ ホームページ http://naganuma-akita.co.jp/



にかほ市長
市川雄次

す。生徒たちはパニックになり、授業どころではなくなります。そのときチップス先生が次のようなことを言います。

「こんなときだからこそ、私たちは学ぶことをやめてはならない。」

そして先生は、生徒たちを着席させ、授業を再開するのです。

これまでも繰り返して述べていますが、コロナ禍の中さまざまな声がかかります。とにかく自粛を求める声、逆に対策より経済だという声などです。

最後はバランスです。コロナに敏感になり過ぎてはいけませんし、逆に軽視し過ぎてはいけません。ただ、ここで言いたいのは、危機のときだからこそ、私たちは立ち止まらずにやるべきこと、やらなければならないことがあるはずだということです。その意味からも、冒頭で述べたように、ブラウブリッツ秋田とTDK硬式野球部による活躍は、今まで以上に価値あるものだと私は思うのです。



「にかほbizまるっと！」に掲載する事業所を募集しています！
若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！



にかほ市移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト